



生徒の皆さんへ

多くの部活動において、大島地区大会が終了を迎えました。それぞれ地区大会では納得のいくパフォーマンスが発揮できたでしょうか。早いもので来週から2学期中間考査となります。学業やスポーツで伸びる人は、気持ちの切り替えが早い、時間の使い方がうまいと言われます。前日になって慌てないように、しっかりと考査を踏まえた学習をやりましょう。中間対策いつするの？今でしょう！

うやぬ なしうかぎ

沖永良部島には先人から受け継いできた言葉”うやぬ なしうかぎ”がある。先日、私がある地域の方から教えていただいた言葉である。大切な言葉で素晴らしい島の教えなので、今一度ここで皆さんに紹介して、再確認してみたい。

もちろん、意味は”親が産んでくれたおかげで”である。代表的な島唄の歌詞の歌い出しにもなっている。和泊町、知名町、それぞれに集落ごとに微妙に歌詞が違うが、次のとおり代表的な二曲の歌詞は、概ね同じような内容である。

いきんとう節 (和泊町)

いちきや節 (知名町)

歌詞の意味 ※合の手省略

① 親ぬ なし^{*1}うかぎ

親ぬ 産し^{*1}うかぎ

① 親が産んでくれたおかげで

たきふ²どう^{*2}にふでいてい

丈程にふでいてい^{*7}

一人前に成長した

親ぬ めえぬ くと³うや

親ぬ 成し⁴事や

親の話すことは／親のした事は

拝⁵でい^{*3}おいしら^{*4}

しそ^{*8}に 思⁶な

拝んでいただけ／粗末に思うな

② 親ぬ ゆし^{*5}ぐと³うや

親ぬ めーぬ 言葉⁹や^{*9}

② 親の教えは／親の話す言葉は

身ぬ 上ぬ たから

身ぬ 上ぬ 宝

一生の宝

耳⁷し 聞⁸ちと³うみてい

耳に 聞⁸き留⁹みてい

耳で／耳に 聞きとめて

ちむ^{*6}に すみり

肝に 染⁹みり

心に染めろ

解説 *1 なし【為・生・産】産む *2 たけだち【丈け立ち】背丈

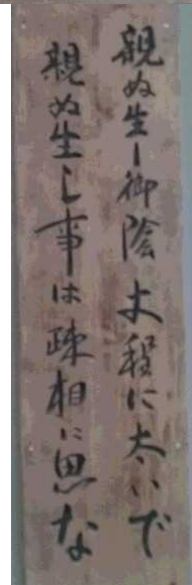
*3 おがむ【拝む】 *4 【おいしく】いただきます *5 ゆし【諭旨】

*6 ちむ【肝】心 *7 ふでいてい【成長】 *8 そまつ【粗】 *9 もの言い【物言】

私たちが生を受けたのは間違いなく親のおかげで、育ててくれたのも親の力によるところが大きい。自分一人で育ってきたわけではない。多くの動物が幼き頃から個で生きていく世界と違い、人は人との係わりの世界でしか生きるすべがない。

私たちは親から、周りの人から、ひいては地域から育てていただいた恩を忘れていけない。「恩送り」という言葉がある。恩返しは当座の謝礼だが、恩送りは未来永劫に対して、その恩を返していく行為を言う。高校生にもなれば、受けた恩を次に返していく「恩送り」の時期にさしかかっていると感じる。是非とも各々が心を込めて「恩送り」の気持ちを持ってほしいと願う。

郷土の先人の残した、言葉・唄



校内にある郷土の言葉

学びは、その後の人生を形づくる

電気を通すプラスチックが研究開発され、今や券売機などのタッチパネルをはじめ色々な場面で利用されている。それ以前はプラスチックは電気を通さないのが常識であったが、実験を繰り返した末に導電性プラスチックを生み出したのが2000年にノーベル化学賞を受賞した筑波大学名誉教授の白川英樹氏である。

この白川先生が次のように話している。中学校、高校時代の授業は「何の役に立つかわからない」と思う人もいるかもしれませんが。私もそうでしたが、あの頃の勉強のおかげで、研究に様々なヒントを与えてくれる教養が身に付いたのだと思います。いろいろ学んだり、いろいろな人の話を聞いたりすることが問題解決のヒントになり、アイデアが広がっていくことになっています。「学ぶ」ということは、そのくらい重いものであり、その後の人生を形づくる重要なことです。

白川先生でさえ、高校時代に学ぶことに疑問を持っていたのですから、皆さんの中で学ぶことに疑問を持つ人がいるのも無理ありません。しかし、研究生の失敗作の「ぼろぞうきんのような膜」を見て白川先生が大発見（セレンディピティー）に至ったように、学びがどこで花開くかわかりません。まずは、中間考査に向けての学びに真剣に向き合ってみましょう。

そういえば、10月初旬はノーベル賞が決定する季節ですね。今年は何がどんな賞を受賞されるのでしょうか。日本人は？



読書への誘い（本校図書室に置いてある本）

「神の島のこどもたち」 中脇 初枝 著 講談社文庫

私たちが住む沖永良部島の戦中、戦後そして本土復帰を果たすまでの時代背景をもとに、こどもたちを主人公にして書かれた読みやすいフィクション小説です。

著者の中脇様は、沖永良部島に幾度となく来島され、沖永良部高校にも取材に来られて、沖高も小説のなかに出てきます。モデル・タレントの知花くららさんも奇跡のように美しい島でのこどもたちの目線で書かれた素晴らしい物語だと絶賛されています。このたび、著者である中脇様から、寄贈図書として本書をいただきました。この機会に、是非とも手に取ってほしい一冊です。



保護者の皆様へ

3年生は就職試験や総合選抜型入試が始まる季節となります。悔いの無い進路選択となるよう学校もベストを尽くします。2年生はコロナ禍での修学旅行の検討を重ねる季節となります。できるだけ早く方向性を打ち出したいと考えております。1年生は原付による通学が始まる季節となります。不慣れからくる事故や違反等が無いように御家庭でも声かけのほどお願い致します。全校生徒にとって高校生活充実の2学期となります。引き続き連携協力のほどお願い申し上げます。